

議員発議による条例制定・改正

静岡市いのちを守る防災・減災の推進に関する条例

2月定例会最終日となる3月18日に「静岡市いのちを守る防災・減災の推進に関する条例」を制定しました。

この条例では、「自助」「共助」及び「公助」による災害に対する備えの重要性を再確認し、それぞれの自発的な取組と十分な連携を求めることで、災害発生時により多くのいのちを守ることができるよう規定しています。

この条例制定が皆さんの自発的な防災・減災に備えた行動につながっていくことを期待しています。



静岡市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

市議会議員は、住民に選ばれた代表者として、住民福祉の向上や市の発展に向け活動をしています。このため、刑事事件で逮捕、拘留されるなど、身体を拘束され、その職責を果たすことができない場合には、その期間に係る報酬及び期末手当を受け取らないとするよう、議員自らの発議により条例改正しました。

静岡市議会委員会条例の一部改正

市の組織機構改正及び市立静岡病院の独立行政法人化に伴い、平成28年4月1日から常任委員会の所管事項が一部変わることから、条例改正しました。

質疑

質疑とは・・・
提案された議案に対して疑問や不明確な点をたずねる発言のこと。

2月15日の本会議で、平成27年度静岡市一般会計補正予算案の質疑を行いました。その一部を抜粋してお知らせします。

森下小学校校舎改築

質問 設計の見直しに伴う継続費の年数及び年割額の変更に至った経緯を問う。

答弁 26年度、「森下小学校校舎建築工事設計業務委託」において、完了検査に必要な書類が揃っていないにも関わらず、27年3月に合格通知書を発行し、委託料を支払った。その後、27年4月、検査時に不足していた書類が設計受注先から提出され、内容を確認したところ、予算額11億3千万円を大幅に上回る約19億円の建設費になることが判明した。

これを受け、今後行う他の学校の校舎建築事業への影響などを考慮し、予算の増額ではなく、設計を見直すこととしたものである。

これにより、校舎の建設が当初の予定から約10か月遅れることとなり、今回の変更に至った。

質問 本来の工事予算額約11億3千万円に収めるための、設計の主な見直し点は何か。

答弁 見直しの主なものは、構造形式と建築設備の変更である。

構造形式は、事前に工場でもコンクリート部材を製作し、現場で組み立てるプレキャストコンクリート造(PC造)から、現場で鉄筋と型枠を組み立て、コンクリートを流し込む鉄筋コンクリート造(RC造)に変更する。この構造形式の変更とこれに伴う建物床面積の縮小並びに内外装の仕様の変更で約6億5千万円減額する見込みである。このほか、建築設備の変更により、約1億5千万円減額する見込みである。

全体で約8億円を減額し、予算内に収まるよう設計の見直しを進めている。

提出された陳情	精神障害者に対する他障害者並みに交通運賃割引を求める意見書採択に関する陳情	採択
	こども医療費助成制度に関する陳情	不採択

提言書を提出しました

産業振興策調査特別委員会

本市における茶業、林業、工業、商業関係者との意見交換などを踏まえ、産業振興策への一層の強化を目指すため、「担い手不足の解消」「事業者の頑張る力への支援」「専門職員育成や庁外連携強化等、提言実現に向けた基盤整備」の3項目の提言をまとめ、4月12日に市長へ提出しました。



観光・交流事業調査特別委員会

3次総で観光・交流分野の目標として定めた「国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちの実現」を達成するため、「静岡らしさの具体的な追求に向けて」「観光関連施設の充実に向けて」「地方創生事業に対応した観光施策の構築に向けて」「観光・交流に関する都市宣言に向けて」の4項目の提言をまとめ、3月28日に市長へ提出しました。



中東和平

イスラエルとパレスチナの学生の皆さんが市議会を訪問されました

平成28年2月定例会初日の2月10日、中東和平(国際交流)プロジェクトの一環として、イスラエルとパレスチナの学生の皆さんが静岡市議会を訪問されました。

このプロジェクトは、イスラエルとパレスチナの紛争等で肉親を亡くした子どもたちを日本に招き、様々な交流をすることで、お互いを理解し、平和への認識を深めてもらうための事業です。

繁田議長が、「この訪問を契機に、皆さんが国際交流、世界平和を目指すリーダーとして歩まれることを期待します。」との歓迎のあいさつを述べたのち、代表者から平和の大切さを訴えるスピーチがありました。



清水エスパルスのJ1復帰を願って議場がオレンジ色に染まりました!!

「サッカーを活かしたまちづくり」「ホームタウンチームを活かしたまちづくり」を目指す市として、清水エスパルスのJ1リーグへの復帰に向け、市民の皆さんからのさらなる応援の機運醸成を図っていききたいとの思いから、議員、市職員が清水エスパルスの歴代ユニフォームを着用して、2月22日の本会議に臨みました。

